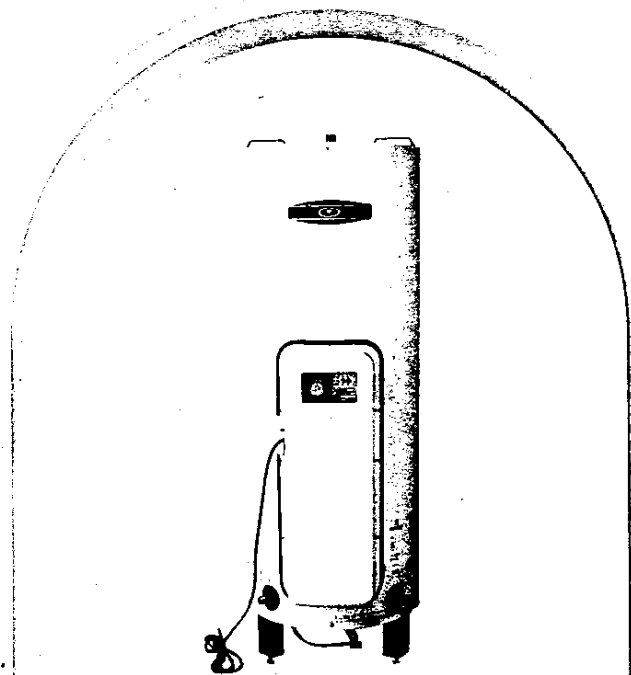
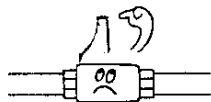
ガス湯沸器(貯湯式)

取扱説明書

33-775型(左配管用)
33-776型(右配管用)

セントラルタイプ(屋内設置)

保証書付

型式の呼び YK2103

ガス器具をお使いになるときのご注意

ガス器具は
ガスの種類にあった
正しいものを

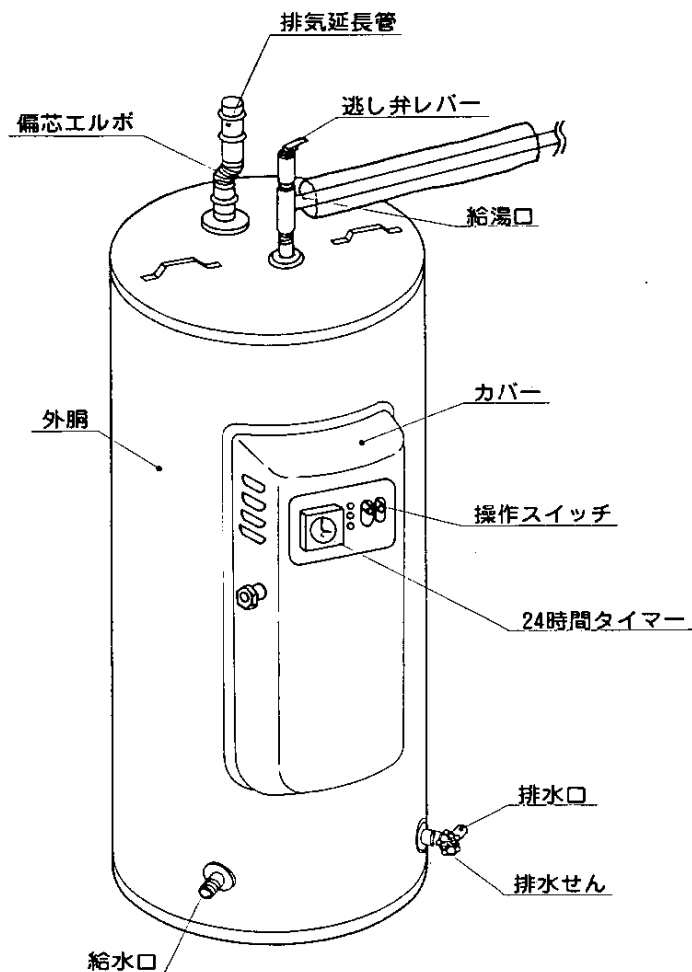
●ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス湯沸器(貯湯式)をお求めいただき、ありがとうございました。
別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保管してください。

もくじ

各部の名称

排気延長管
偏芯エルボ
逃し弁レバー
給湯口
カバー
外胴
操作スイッチ
24時間タイマー
排水口
排水せん
給水口

特に注意していただきたいこと

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

使用ガスについてのご注意

- **ガスの種類を確かめてください。**
  ガス器具本体の右側下部にはってある銘板(ラベル)に表示のガスの種類と、お宅のガスが一致しているかをまず確かめてください。

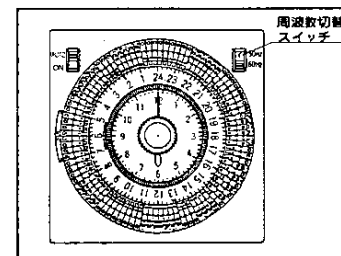
YK2103

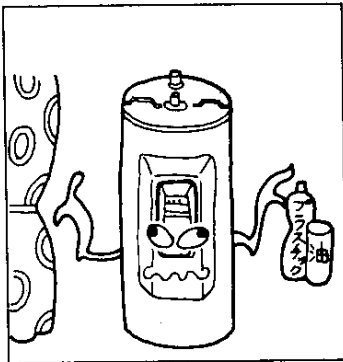
貯湯量	208ℓ
都市ガス用	
13A	4800kcal/h
最高使用水頭圧	10mH₂O
伝熱面積	0.215㎡
定格電圧	AC100V
定格消費電力	60W
定格周波数	60Hz
株式会社ハーマン SM	
検査証印	
型式	
型式登録番号	
種類	貯湯湯沸器

HARMAN

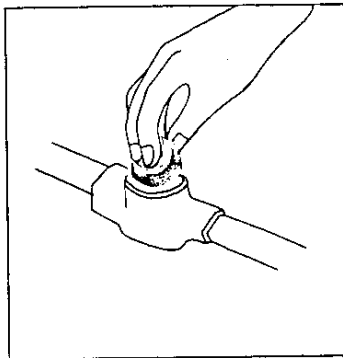
- 都市ガスにはガスグループの区分があります。
- 転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

使用電源についてのご注意

- **60Hz・100Vを使用してください。**
- **24時間タイマー右上の周波数切替部が60Hzになっていることを確認してください。**

使用場所についてのご注意

- カーテンや、燃えやすいものの近くでは使用しないでください。
- 家具その他の可燃物から十分離れている場所で使用してください。
- 丈夫で水平な床面に設置してください。
- 冷暖房器の近くへ設置しないでください。
- 特殊薬品を取扱う場所（例えば理・美容室）では器具及び排気筒を腐食しますので設置しないでください。

使用上のご注意

ガス漏れ予防

- 長時間器具をご使用にならないときは、万一の事故がないように、必ず元せんをしめてください。

火災予防

- 器具の上やそばに燃えやすいもの（紙、カーテン、家具、揮発油など）を絶対においたり近づけたりしないようにしてください。

やけどのご注意

- 湯温スイッチが「高」で約80℃、「低」で約60℃のお湯がでますのでやけどに注意してください。

換気のご注意

- ガスが正しく燃えるためには、充分な空気が必要です。しめきった部屋で長時間使用すると空気中の酸素が減少し、不完全燃焼による一酸化炭素中毒の危険があります。設置場所の給気口・換気口は常に確保し、物などでふさがないでください。

ガス事故防止

- ガス漏れに気づいたときや器具使用中、変な臭いがしたときはすぐ使用をやめて運転スイッチを「切」にし、ガス元せんを閉じて窓や戸を全部あけて、大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社にご連絡ください。

飲用にされる場合

- 朝一番など、長時間お湯の使用を停止した後にお使いの場合は、洗面器一杯程度（給湯配管中のたまり水）は雑用水としてお使いください。その後は飲用又は調理にお使いいただけます。

凍結についてのご注意

● **冬の厳寒期には器具内や給水・給湯配管の水が凍結し、破損事故が起こることがありますので、庭のたまり水などが凍るおそれのある日は、24時間タイマーをＯＮの状態にして運転スイッチを「入」にしてください。**

〈ご注意〉
①器具や配管が破損し、高額の修理費用がかかる場合があります。
②凍結したまま使われますと、器具に異常が生じる場合があります。凍結が解けた後各部分の作動をご確認の上、ご使用ください。

異常時の処置

● **ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときはそのままお使いにならず、直ちにご使用を中止（運転スイッチを〝切〟、ガス元せんを閉止）して十分な点検をお願いします。**
〔故障・異常の見分け方と処置方法については14ページをお読みください〕

停電があった場合のご注意

● **再通電すれば自動的に運転しますが、〝停電した時間〟だけ24時間タイマーが遅れていますので、現在時刻に合わせてください。**

日常の点検・手入れ

● **器具を安全、快適にお使いいただくために、日常の点検、手入れは必ず行なってください。****（詳しくは18ページをお読みください。）**

● **故障又は破損したと思われるものは使用しないでください。不完全な修理は危険です。**

● **万一具合が悪くなって処置に困るような場合は、大阪ガスサービスショップ、または大阪ガス支社にご連絡ください。**

貯湯槽の防食について

● **電源により貯湯槽が腐食するのを防いでいますので、ご使用期間中は電源コードのプラグをコンセントより外さないでください。**

器具の設置

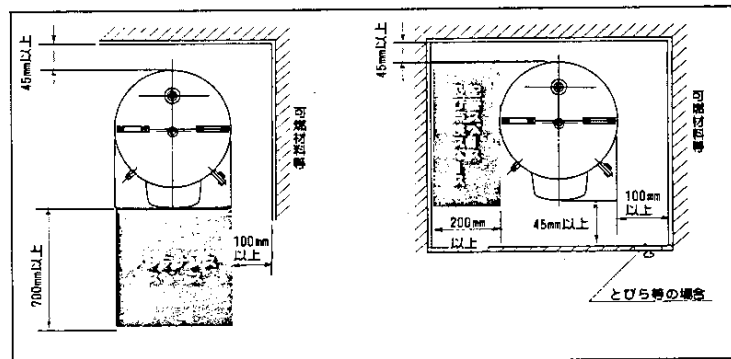
設置前の準備と確認

●器具の設置は専門の工事店に依頼し、安全な位置に正しく設置してご使用ください。

●正しく設置されているか確認してください。（詳しくは工事説明書をお読みください。）

設置上のご注意

● **器具は前後、左右に傾かないようにしてください。**
● **丈夫で水平な床面に設置してください。（満水時の重量は約300kgになります。）**

●火災予防上またはアフターサービス上、建築構造物から器体面までは45mm以上離し、配管スペースは給水側 200mm以上、排水側は 100mm以上とってください。但し、前面は操作及び修理の都合上700mm以上とれるようにしておいてください。（とびら等で前面を閉じた時は45mm以上、但しこの場合はとびらの開閉が容易にできるようにしてください。）

ガスの接続

● **この器具は必ず金属配管にて接続してください。**

● **配管工事は大阪ガス指定業者にて施工してください**

使 用 手 順

操作パネル部の各部の働き

マニュアル・スイッチ

「AUTO」…設定子の設定にしたがいON/OFF動作します。
「ON」………タイマーに関係なく「連続運転」になります。

周波数切替

供給されている電気の周波数と合わないと遅くなったり速くなったりします。
（60Hz周波数に合わせてください）

設定子

ON設定…設定子を内側に倒す
OFF設定…設定子を外側に倒す
設定子は確実に倒してください。

時刻合わせつまみ

必らず矢印方向に回して時刻合せしてください

ON／OFF位置

ON・OFFはこの位置が示す時刻で作動します。（赤線部）
この位置で現在時刻に合わしてください。（24時間表示ですので注意してください）

運転スイッチ

「入」…運転（燃焼）可能な状態になります。
「切」…運転を中止します（燃焼中でも任意に消火することができます）

湯温スイッチ

「高」…約80℃に沸き上げます。
「低」…約60℃に沸き上げます。

ランプパネル部の各部の働き

運転ランプ（緑）

運転スイッチを「入」にすると点灯します

燃焼ランプ（赤）

点灯…燃焼していることを表示します。
点滅…燃焼しない時に点滅します。この時警報ブザーがなります。

沸上りランプ（黄）

点灯…湯温スイッチ「高」または「低」にて沸上ったことを表示します。
点滅…器具が正常に作動しないときに点滅します。
（警報ブザーも鳴ります。）

点火前の準備と確認

- 器具の近くに紙、プラスチック、油類など燃えやすいものが置いていないことを確認してください。
- 運転スイッチが「切」になっていることを確認してください。
- 排水せんを閉方向（「S」の方向）に回してください。
- 給水元せん及びガス元せんを開いてください。

使用手順③

- 貯湯槽内に水が入っていることを確認してください。(給湯せんを開いて、水が勢いよく流れますと満水になっています。)
- 器具の電源コードのプラグをコンセントに差し込んでください。
- 24時間タイマーで器具を作動させる時間帯を設定子によって設定してください。(この時マニュアルスイッチは「AUTO」の位置にしてください。24時間タイマーを使用しない場合は「ON」の位置にしてください。)
- 時刻合わせつまみを矢印の方向に回し、ダイヤルのON/OFF位置と時計部によって現在時刻を合わせてください。器具の電源コードのプラグをコンセントに差し込みますと、タイマーは運転状態になります。

点火

- 運転スイッチを「入」にしてください。運転ランプが点灯します。24時間タイマーが"ON"の状態で、そのときの貯湯槽内の湯温が「低」(約60℃)「高」(約80℃)の設定温度より低ければ点火動作に入りファンが回ります。
  ファンが回り、約20秒後に燃焼ランプ(赤)が点灯します。使用して湯が出てこない場合には、燃焼ランプを確認してください。
- 警報ブザーおよび燃焼ランプ(赤)が点滅した時は運転スイッチを「切」にし、ガス元せんが開いていることを確認のうえ、再度「入」にしてください。再点火します。

使用手順④

湯温調節

- 冬期お湯をお使いになるときは湯温スイッチを「高」(約80℃)、その他の季節では「低」(約60℃)にしてください。春秋にお使いのときでも、お湯がぬるいと感じられる場合は「高」にしてください。

出湯

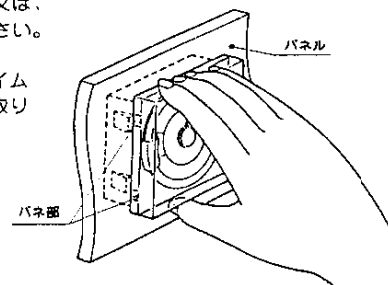
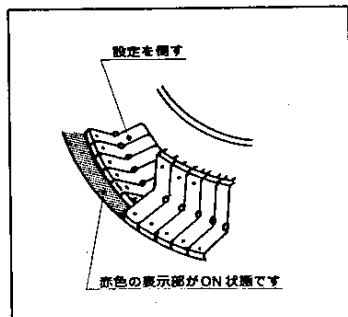
- 給湯せんを開くとお湯がでます。はじめてお使いになるときや長時間お使いにならなかったときは配管内のお湯が冷えているため、しばらくぬるいお湯がでてきますが、だんだん熱くなりますので注意してください。

消火

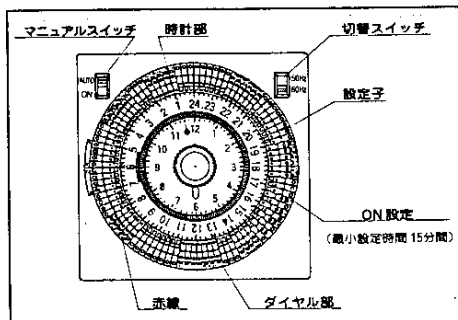
- 燃焼中に消火されるときは運転スイッチを「切」にしてください。

タイマーの設定方法

保護カバーの着脱方法

- 取りはずす時は保護カバーの左端又は、右端の上下を持ってはずしてください。
- 取り付け時はカバーのバネ部をタイムスイッチの両側の凹部に入る様に取り付けてください。

①お望みの時間帯の設定子を内側へ倒して下さい。周囲部に赤色の表示が出ますので、その時間帯が「ON」の状態です。
- 設定子１個は15分相当です。
- 設定子を倒す時は十分に倒し、中間位置にならないようにしてください。

②設定子の設定が終わりましたら中央のダイヤルを時計方向に回わし、現在時刻に合わしてください。

〈ご注意〉
時計表示の午前・午後に注意してください。(周囲の表示は24時間表示になっています。)現在時刻は赤線にて確認してください。

③周波数切替スイッチの表示位置が60Hzになっていることを確認してください。

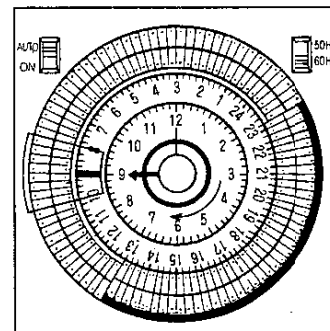
④マニュアルスイッチを「ON」の位置にしますと「連続運転」の状態になります。タイマー設定として使用の場合は「AUTO」の位置にしてください。

上手なお湯の使い方

- 一般家庭では風呂に落とし込みの際にもっとも多量にお湯が必要となります。この湯沸器は1.5人用浴槽（約240ℓ）～２人用浴槽（約290ℓ）を使って入浴される家庭用に設計されたものです。(ただし、同時に台所などでお湯を使われた場合は不足することがあります。)
- ２人用浴槽や1.5人用浴槽でも,来客があった時などでお湯の張りかえなどされる場合は、お湯が不足することがあります。その時には出湯を止め、貯湯槽のお湯が沸き上がる迄お待ちください。もし貯湯槽内のお湯が全部水になっている場合、沸き上がり迄の時間は次の通りです。

季節	水温(℃)	湯温スイッチ「高」(約80℃)	湯温スイッチ「低」(約60℃)
冬	5	約４時間30分	約３時間15分
夏	25	約３時間15分	約２時間５分

〈タイマー設定の例〉
- たとえば下図のように13：00～23：00に設定しますと、冬場においても午後５時30分頃には80℃に沸き上ります。その後、入浴等でお湯を使用しても午後11時までは、順次沸き上げます。
- 朝方、入浴等でお湯を大量に使用する場合は、上記の表を参考にして設定してください。

設定例
1. マニュアルスイッチ　AUTO
2. 周波数　60Hz
3. 現在時刻　午前９時
4. 設定時間帯　13:00～23:00

故障・異常の見分け方と処置方法

・この湯沸器をご使用中、ふだんと違った状態になったときや、故障・異常が生じたときは、ただちに使用を中止して、十分な点検をお願いします。

異常報知(警報モニター)のある場合の処置方法

①この湯沸器には故障・異常が生じたときに、燃焼ランプの点滅、沸き上りランプ点滅、及び警報ブザーでその原因をお知らせする異常報知(警報モニタ)機能があります。

項目	原因	処置方法
警報ブザーと燃焼ランプ点滅	バーナーの途中消火 バーナーの不着火	A→B→C
警報ブザーのみ	貯湯槽が満水でない	D→F→G→H→I→J→K
	貯湯槽から水が漏れている	D→E→F→L

〔処置方法〕

A．運転スイッチを「切」にしてください。

B．ガス元栓が開いているかどうか確認してください。

C．運転スイッチを「入」にしてください。約20秒後に再点火します。

D．排水ホースより水が流れていないか確認してください。流れていなければ貯湯槽内が満水になっていません。流れていれば貯湯槽から水が漏れていることになります。

E．給水元せんを閉めてください。

F．運転スイッチを「切」にし、電源コードのプラグをコンセントより外してください。(警報ブザーが止まります)

G．給水せんを開けて給水します。

H．逃し弁レバーを起し水が流れ出すのを確認して、逃し弁レバーをおろしてください。

I．給湯せんより水が連続して流れる様になってから、約3分間水を流した後給湯せんを閉じてください。(これで貯湯槽は満水になります)

J．器具の電源コードのプラグをコンセントに差し込んでください。

K．所定の点火操作により点火を行なってください。

L．湯沸器の故障ですのでただちに使用を中止して、ガス元せん、給水元せんを閉めて大阪ガスサービスショップ、または大阪ガス支社にご連絡ください。

※上表に記載のない点滅の場合(沸き上りランプの点滅が1回、2回及び5回、6回のパターンがあります)は運転スイッチを「切」にして(警報ブザーが鳴り止みます)Lの処置をとってください。

②上表の手順通りに処置しても再度、点滅や警報ブザーが鳴っている時は大阪ガスサービスショップまたは、大阪ガス支社にご連絡ください。

異常報知(警報モニター)のない場合の処置方法

● **この湯沸器は、ガス・水・電気のいずれかが、止まりますと使用できませんので特にこの3つについて十分な点検をお願いします。**

現象 ＼ 原因	運転スイッチを「入」にしても運転ランプが点灯しない	給湯せんを開いても水も湯も出てこない	給湯せんを開いてもお湯が出てこない	タイマーが設定した通り作動しない	処置方法	参照ページ
電源がきていない	○			○	停電でないか調べてください	—
途中停電した				○	24時間タイマーの時刻を設定しなおしてください	8
漏電安全装置が作動している	○		○		「安全装置が作動したときの処置方法」の項にしたがってください	17
電源ヒューズが切れている	○		○		点検・修理を依頼してください	—
電源プラグが抜けている	○		○		電源プラグをしっかりとコンセントに差し込んでください	—
断水している		○			通水が始まるのを待ってください。	—
給水元せんが閉じている		○			給水元せんを全開にしてください	—
ガス元せんが閉じている			○		ガスの元せんを全開にしてください	—

• 処置方法や原因がわからないときは、大阪ガスサービスショップ、または大阪ガス支社へご連絡ください。

安全装置の種類と作動したときの処置方法

1 バーナ安全装置（フレームロッド）

• バーナに着火しなかったとき、またバーナの炎が消えたときは安全装置が働いて自動的にガスが止まり、燃焼ランプ(赤)が点滅し警報ブザーが鳴ります。この場合、運転スイッチを「切」にし、ガス元せんが開いていることをご確認のうえ再度運転スイッチを「入」にしてください。再点火します。

2 過熱防止装置（ハイリミット）

• ご使用中に温調回路に異常が起き、湯温が異常に上昇しますと、ハイリミットが作動してガス通路をしゃ断し、沸き上りランプが点滅して警報ブザーが鳴ります。ガス元せんを閉め、運転スイッチを「切」にして大阪ガスサービスショップ、または大阪ガス支社にご連絡ください。

3 ファン風圧感知安全装置（風圧スイッチ）

• 燃焼補助ファンが回らない場合、点火器および電磁弁が働くのを防ぐ安全装置です。沸き上りランプが点滅し、警報ブザーが鳴ります。ガスの元せんを閉め、運転スイッチを「切」にして大阪ガスサービスショップまたは、大阪ガス支社にご連絡ください。

4 電源ヒューズ

• ご使用中なんらかの原因で過電流が流れ、電源ヒューズが切れたときは、運転ランプは点灯しません。この場合、運転スイッチの「入」「切」を繰り返しても運転ランプは点灯しません。ガス元せんを閉め、運転スイッチを「切」にして大阪ガスサービスショップ、または大阪ガス支社にご連絡ください。

5 漏電遮断器

• 万一、湯沸器の電気回路から漏電したときに漏電による湯沸器の電気部品が故障するのを防ぎます。この安全装置が作動した時は、電源プラグを抜き差しすると復帰します。しかし、そのときも漏電しますと再び作動しますので、大阪ガスサービスショップ、または大阪ガス支社にご連絡ください。

6 漏水センサー

万一貯湯槽内より水が漏れた場合、警報ブザーにて知らせます。器具脚部の排水ホースから水が流れているのを確認のうえ、給水元せん・ガス元せんを閉め、運転スイッチを「切」にし電源プラグをコンセントから抜いて大阪ガスサービスショップ、または大阪ガス支社にご連絡ください。

7 換気センサー

万一換気ファンの故障や換気ダクト系統の異常等で換気が正常に行なわれていない場合、器具本体の沸き上りランプが点滅して警報ブザーが鳴ると同時に換気センサー前面パネルの換気センサーランプ(赤)が点灯します。この安全装置が作動した時は器具本体及び換気センサーの電源コードを一度抜き再度差し込んでください。しかし同じ現象が再度起きた場合は、ガス元せんを閉め運転スイッチを「切」にして大阪ガスサービスショップ、または大阪ガス支社にご連絡ください。

日常の点検・手入れ

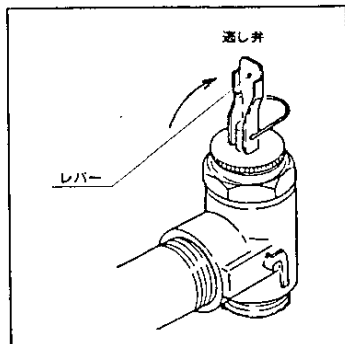
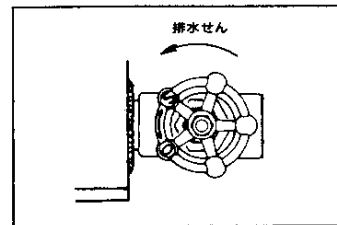
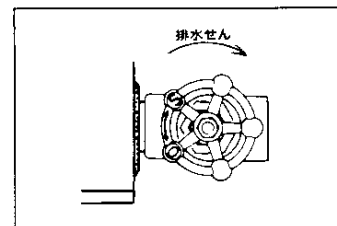
点検・手入れの際のご注意

- ●点検・手入れについては、日常の点検以外は大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社に依頼してください。
- ●点検で異常を見つけられたときは、大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社に修理を依頼してください。
- ●点検・手入れの前には必ずガス元せんを閉じ、器具が冷えてから行なってください。

お 手 入 れ

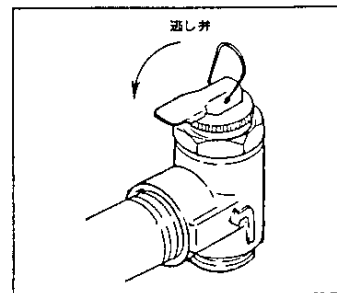
●貯湯槽内

・貯湯槽はグラスライニング処理（特殊ホーロー）を施しておりますが、水道配管中のゴミや錆が貯湯槽に沈澱する場合があります。沈澱物を洗い落とすために月に一回程度貯湯槽の水抜きを行なってください。熱の吸収をよくし、経済的にご使用いただけます。次の順序で行なってください。

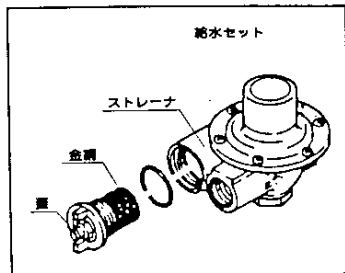
(1)運転スイッチを「切」にしてください。
(2)ガス元せんを閉めてください。
(3)給水元せんを閉めてください。
(4)逃し弁レバーを起こしてください。

⑤排水せんを開方向（「O」の方向）に回わして貯湯槽の水を排水してください。

⑥給湯せんを開くと配管中の水も一部排水できます。
⑦水を抜いた後は、排水せんを閉方向（「S」の方向）に回わしてください。

⑧ご使用のときは給水元せんを開け、逃し弁から水がでることを確認し、逃し弁レバーを戻した後給湯せんから水が勢いよく流れることを確認してください。

●逃し弁

・燃焼していない状態で、ときどき逃し弁先端（排水口の上）から水がでていないか確認してください。（燃焼中に水が少しでるのは異常ではありません）

・万一水が出ている場合は、逃し弁レバーの開閉を数回繰り返してください。（逃し弁内に付着した異物を取り除きます）なおかつ水が止まらない場合は、大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社にご連絡ください。

●給水セット中のストレーナ

・ストレーナは水道中に含まれているゴミや砂などの異物を取り除くものです。ストレーナに異物がたくさんたまると給湯せんをいっぱいに開けてもお湯の出は悪くなります。この場合は給水元せんを閉め、ストレーナの蓋を開けて金網のまわりについている異物を掃除してください。

●器具の外胴

・汚れが目立ってきましたら湿った布でふきとってください。なおとれにくいときは、液状の洗剤を布にふくませて汚れを落とし、お手入れ後はかわいた布で水気をとっておいてください。

長期間使用しない場合

・運転スイッチを「切」にし、ガス元せんを必ず閉めてください。
・電源コードのプラグを抜いてください。
・貯湯槽の水を抜いてください。

〈ご注意〉
①電源コードのプラグを抜かないで貯湯槽の水を抜きますとブザーが鳴ります。プラグを抜きますとブザーは鳴り止みます。
②貯湯槽の水を抜かないで電源コードのプラグをはずすことは絶対にさけてください。
・再び使用される時は、使用手順に従ってください。この場合、電源コードのプラグをコンセントに確実に差し込んでください。又、24時間タイマーの時刻を現在時刻に合わしてください。

特　長

1　ダイレクト点火方式で、パイロット(種火)ロスがありません。

2　操作部が本体にありますので、リモコン工事は不用です。またタイマー内蔵のため、点火・消火が自動でできます。

3　貯湯量は208ℓとたっぷりありますので同時使用や、大量給湯にも安定した湯量が得られます。

4　運転スイッチを「入」にすれば自動運転します。湯温調節は湯温スイッチを「高」・「低」の切替で80℃、60℃になります。

アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

●14ページ「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見て、もう一度ご確認下さい。

●確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないで、大阪ガスサービスショップ、または大阪ガス支社にご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

①品　名……湯沸器（貯湯式）
②品　番……右側下部に貼付してあります。

（例）

(N)33-775(U)
大阪ガス株式会社 09

③現　象……（できるだけ詳しく）
④道　順……（できるだけ詳しく）

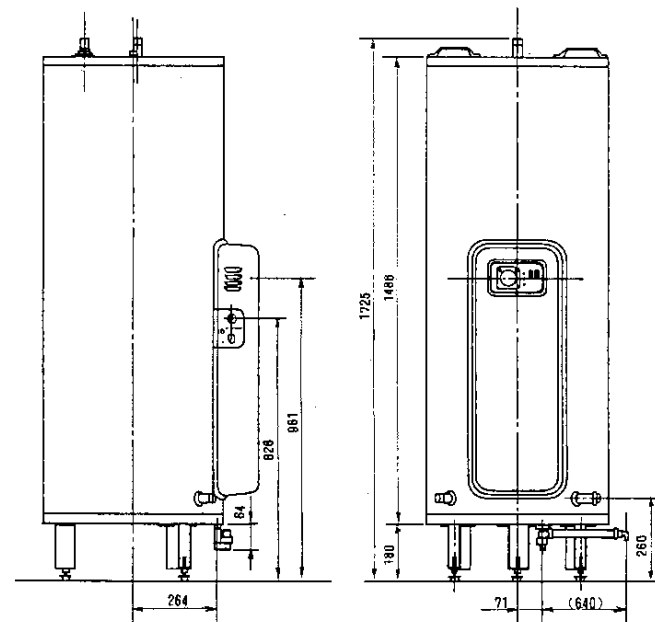
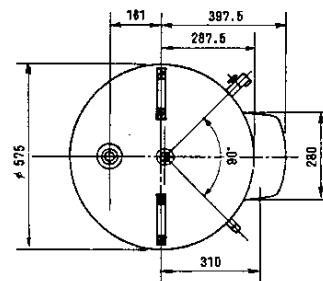
転居される場合

●ガスには都市ガス14種類およびＬＰガスの区分があります。
ガスの種類が異なる地域へ転居される場合は、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認のうえ、大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社にご相談ください。
この場合調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

保証書について

●**この器具には保証書がついています。**
この湯沸器(貯湯式)は保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。
保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

寸法図と仕様一覧表

33-775型（33-776型はガス・給水・排水の接続口が左右逆になります）

寸法図と仕様一覧表 ②

器種名		ガス湯沸器（貯湯式）
品名		33−775型（左配管用） 33−776型（右配管用）
点火方式		連続放電点火
外形寸法		1725（高）×575（巾）×685（奥）
重量（器具）		87kg（満水時 295kg）
制御安全装置		換気センサー・風圧スイッチ・フレームロッド ヒューズ・ハイリミット・空焚防止・漏電遮断器
消費量 ガス	6 C（kcal/h）	4,800
	13 A（kcal/h）	4,800
貯湯量（ℓ）		208
有効出湯量（ℓ）		190（出湯速度10ℓ/分）
接続	ガス	15A（½B）メネジ
	給水	20A（¾B）オネジ
	給湯	20A（¾B）オネジ
	排水	20A（¾B）メネジ
電気関係	電源	AC 100V 60Hz
	消費電力	60W
沸き上り時間	5 〜 60 ℃	約3時間15分
	5 〜 80 ℃	約4時間30分
沸き上がり温度		低「60℃」 高「80℃」
付属品		偏芯エルボ・逃し弁・排気延長管

MEMO

おねがい

ガスくさいときはお部屋の元せんを閉め、窓を全開にしてから（火気に注意して）大阪ガス支社・サービスステーションにご連絡ください。

本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

名称	〒	所在地	電話
本社ガスビルサービスセンター	〒541	大阪市東区平野町5丁目1	☎大阪 06(202)2221
南支社	〒557	大阪市西成区玉出東2丁目9番41号	☎大阪 06(652)0001
北支社	〒532	大阪市淀川区十三本町3丁目6番35号	☎大阪 06(301)1251
堺支社	〒590	堺市住吉橋町2丁2番19号	☎堺 0722(38)1131
北摂支社	〒569	高槻市藤の里39番6号	☎高槻 0726(71)0361
阪神支社	〒662	西宮市和上町4番11号	☎西宮 0798(26)3101
東部支社	〒578	東大阪市稲葉2丁目3番17号	☎河内 0729(62)1131
京阪支社	〒573	枚方市西田宮町16番17号	☎枚方 0720(41)1251
神戸支社	〒650	神戸市中央区相生町5丁目13番10号	☎神戸 078(576)5231
京都支社	〒604	京都市中京区烏丸通御池角	☎京都 075(231)8151
奈良支社	〒631	奈良市学園北2丁目4番1号	☎奈良 0742(44)1111
和歌山支社	〒640	和歌山市本町1－1－1	☎和歌山 0734(31)2481
姫路支社	〒670	姫路市神屋町4丁目8	☎姫路 0792(85)2221
東播支社	〒675	加古川市加古川町粟津29の1	☎加古川 0794(21)1801
豊岡支社	〒668	豊岡市三坂町6丁目57番地	☎豊岡 07962(3)2221
湖南支社	〒525	草津市追分町字荒堀680の1	☎草津 0775(62)5311
彦根支社	〒522	彦根市大東町12－11	☎彦根 0749(22)3131
（長浜営業所	〒526	長浜市南呉服町3番4号	☎長浜 0749(62)7171）

その他当社サービスステーション、およびサービスショップ

大阪ガス株式会社

88.02.(01)